

3. 一般会計のはなし 【支出編】

市の支出について（目的別）



収入の次は「支出」の勉強かな？でていくお金だよな？

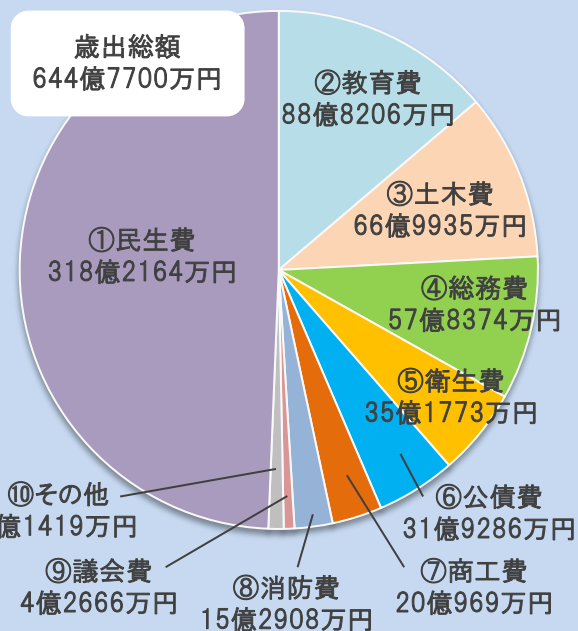


そのとおりじゃよ。そして、1年間に使うお金をまとめたものを「歳出予算」というのじゃ。

また、歳出予算には、「目的別」と「性質別」の見方がある。

まずは、お金を使う目的ごとに分けられている、「目的別」の歳出予算をみてみよう！

平成27年度 一般会計歳出予算(目的別)



歳出（目的別）の各項目の説明

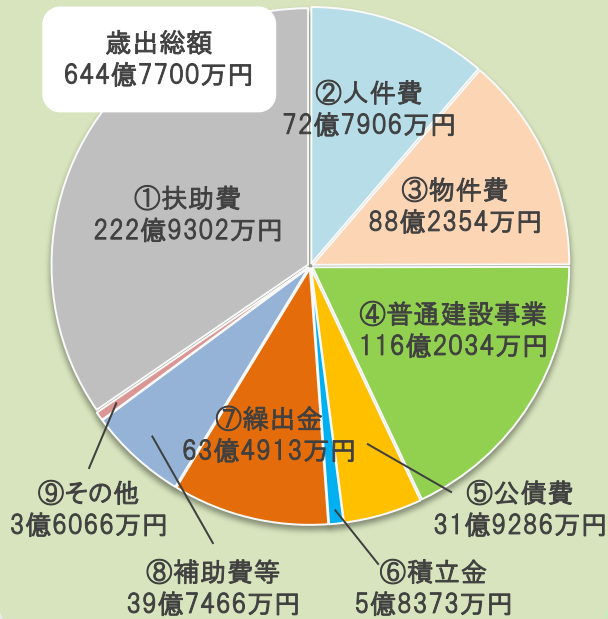
①民生費	こどもや老人、障がい者が安心な生活をおくる為に必要な福祉に使うお金です。
②教育費	学校の教育や図書館・博物館の運営、スポーツの振興などに使うお金です。
③土木費	沖縄市の道路や公園、公共住宅などを作ったり、修理したりするお金です。
④総務費	税金の徴収や市庁舎の管理、財産の管理など、市役所を運営する為のお金です。
⑤衛生費	ごみの収集や医療・保険など、市民の生活や健康を守るためのお金です。
⑥公債費	銀行などから借りている沖縄市の借金を返す為のお金です。
⑦商工費	商店街や企業の支援や観光の振興、まつりの開催などに使うお金です。
⑧消防費	火事・台風や、怪我・事故などから、市民の命や財産を守る為に使うお金です。
⑨議会費	沖縄市の議会を開催したり、議員のみなさんの給料を払ったりするお金です。
⑩その他	他にも「農林水産費（農業や漁業などの支援）」「労働費（働く人の支援）」「災害復旧費（災害の被害から復旧する為の費用）」などがあります。



市役所の仕事を目的別に大きく分けるとこのようになるのじゃ。その中でも、こどもやお年寄り、障がい者のために行う仕事に約半分のお金が使われていて、教育や道路・公園などに使うお金も結構大きいのじゃな。

市の支出について（性質別）

平成27年度 一般会計歳出予算（性質別）



次は「性質別」の歳出予算だね！でも、性質別って？

なんだか分かりにくなあ…？



教育に使う予算や消防に使う予算など、目的が違う予算の中でも、職員の給料や事務用品の購入代金など、**お金の使い道が同じ性質のもの**がある。そのような見方でお金を分けたものが「**性質別**」じゃ。では、「性質別」の歳出予算をみてみよう。

歳出（性質別）の各項目の説明

①扶助費	医療や福祉など、生活を助けるために必要な支援にかかるお金です。
②人件費	市の職員や議員、各種委員に払う給料や報酬などにかかるお金です。
③物件費	光熱水費（電気・水道等）や消耗品費（事務用品等）などにかかるお金です。
④普通建設事業	市の建物や道路、公園などの建設にかかるお金です。
⑤公債費	銀行などから借りている沖縄市の借金を返す為のお金です。
⑥積立金	特定の目的に設けている市の貯金（基金）への積み立てにかかるお金です。
⑦繰出金	一般会計から特別会計等への支出にかかるお金です。
⑧補助費等	他の組織への補助金や負担金などにかかるお金です。
⑨その他	他にも「維持補修費（公共施設の維持や修理にかかるお金）」「予備費（緊急に必要となった事にかかるお金）」があります。

沖縄市の一年間の支出をまとめた歳出予算には、目的別と性質別があって、それぞれ違う角度からみることで、市がどのようなことにお金を使っているか、どのようなことに力を注いでいるかが分かるのじゃな。



沖縄市が市民の為に行う仕事には、これだけ多くの予算が使われているんだね。歳出予算のそれぞれの項目は少し難しいけど、僕たちの暮らしに関わっているお金だから、これからも興味をもって勉強してみるよ♪